

施策番号 3-2-1	施策名 安心して生み育てることができる子育て支援	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり		
		政策名	安心して子育てできるまちづくり		
	主管課	子育て支援課	課長名	杉山ゆかり	内線 580
	施策関係課				

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
妊娠・出産、子育てに関する悩み・不安の解消と地域社会の理解を深めることにより、まち全体による子育て支援体制の充実を図ります。		町民	・妊娠、出産及び子育てに対する不安や悩みを解消する ・子育てに対する地域社会の理解を深める				子育ての支援体制が充実し、安心して生み育てることができる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標	
① 育児が楽しいと感じる親の割合	乳幼児健診アンケート	%	87.6	87.0	88.0	90.0	
② 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	96.5	87.9	89.0	90.0	
③							
④							
成果指標設定の考え方	①は、乳幼児健診の際に実施する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、町民を対象とした住民意識調査の結果を成果指標として設定。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)						

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	398,394	421,675
人工数(業務量)	11.2733	10.2842

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②共に策定時より低い、前年度実施の同アンケート及び調査結果より上昇している。 →子ども医療費の助成対象拡充等、子育て世帯への経済支援が要因と考えられる。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	妊娠から出産、子育ての悩みや不安を解消する体制を充実させる必要がある。 社会全体で子育てを支えることに理解を深めてもらうため、住民への周知を効果的に行っていく必要がある。
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	子ども医療費給付事業 子育て支援センター運営事業 子育て世代包括支援センター運営事業 発達支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・子育て世帯の経済負担の軽減を図るため、2019年4月から、ひとり親家庭等及び子ども医療費の助成対象者を拡充した。 ・安心して出産・育児ができるように「子育て世代包括支援センター」の機能を強化し、きめ細かい相談対応と継続的な支援を行っている。2019年度から産後ケア事業のデイサービス型を開始した。 ・発達支援システムを充実させ、発達に支援が必要な児童に対し、一貫性と継続性のある支援を行った。		

進捗結果	A	B	C	D	E
				○	

※該当に○印

A: 実現した  
 B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した  
 C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
 D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない  
 E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な問題として、養育環境が安定しない世帯が増えている。</li> <li>・少子化・核家族化の進行により、地域になじめず養育に悩みを抱える親への支援。</li> </ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町独自の子育て世代の経済負担軽減の検証と貧困などの課題を抱える子どもの早期発見・早期対応。</li> <li>・社会全体で子育てを支援する体制の構築。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの貧困対策： 保護者アンケートで、子育て世帯の経済負担軽減の要望がある。 企業や団体による風の子めむろへの支援がある。</li> <li>・子どもの権利擁護の推進： 議会一般質問で、子どもの意見が反映するまちづくりについて、意見あり。</li> <li>・子育て支援： 行政だけでなく、社会全体で子育てを支援する体制や環境の充実を求める意見あり。 パパママ教室など参加者同士のネットワークづくりにつながる取組の継続の要望がある。</li> </ul>

#### 5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て世帯の経済負担の軽減と子どもの貧困対策 妊娠期から子育て期までの検診及び医療費等の助成制度の検証を行う。 ひとり親家庭に対応した相談・援助体制の整備。 子どもの居場所づくりを推進し、貧困等の悩みを抱える子どもの早期発見と早期対応。</li> <li>● 子育ての不安を解消する体制の整備 妊娠から出産、出産後の母子への支援として、相談体制の強化と産後ケアを充実させる。 「発達支援システム」による一貫性と継続性のあるサポートを継続する。 児童虐待の未然防止のため、養育上の課題の早期発見と早期対応。</li> </ul>
--

#### 6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	成果指標は策定時と比べ大きく変わらないものの、子ども医療費無料化の対象拡大という大きな政策転換を実施しており、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	・子ども医療費無料化の対象を拡大していることの効果が、今後現れてくることを期待する。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した				

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	様々な子育て支援事業に取り組んでおり、策定時と比較して前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の子どもの遊び場をつくってほしい。</li> <li>・子育て支援団体が周知活動ができる場所が限られているので、子育て支援課に関係する施設にチラシを設置してもらうなど、周知活動への支援をしてほしい。</li> </ul>	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した				